仕　様　書

品名コード	キ７１０２２

１　品名
　営業用前籠カバー

２　数量
　３，３００個

３　基本的要件
　以下の基本的要件を満たすこと。
⑴ 構造
　フロントバスケット（寸法：開口部Ｗ４８５ｍｍ×Ｄ２７０ｍｍ×Ｔ２６０ｍｍ、底面Ｗ４３５ｍｍ×Ｄ２１０ｍｍ）に、装着するものであること。
　詳細は別紙１のとおり
⑵ 商品寸法、素材、素材の物性等
　別紙１及び別紙２のとおり
⑶ 色
　郵政レッド（ＤＩＣ2493（4 版）又は、Ｐａｎｔｏｎｅ２００Ｃ）で染めた素材を使用すること。
⑷ 加工
　糸を使用しない非縫製のウェルダー加工とすること。また、ウェルダー加工用面ファスナーを生地へ取り付ける際も同様とすること。

４　コーポレートブランドマークの表示
　契約締結後、日本郵便株式会社営業部営業基盤担当（以下「主管担当」という。）から原稿データを配付するので、コーポレートブランドマークを表示すること。
⑴ 表示位置
　表示位置は別紙１のとおり
⑵ コーポレートブランドマーク
　ア　規格　縦４４．３㎜×横１４０．０㎜
　イ　文字色　白

５　附属品
　本体の納入時に本体１個につき、取扱説明書を１部添付すること。

６　見本品等の提出
　契約締結後、原則として平成２７年２月６日（金）までに、次のものを主管担当に提出することとし、必ず主管担当が承認した後に製造及び納入を行うこと。また、郵政レッドの色合わせは主管担当の了承を得るまで３回程度行うこととし、平成２７年２月２０日（金）までに終了すること。
　なお、これらの製造等にかかる費用は、契約者の負担とする。
⑴ 製品見本品（コーポレートブランドマークの表示を含む。）　１個
⑵ 取扱説明書　１部

７　包装等
　取扱説明書を１個につき１部添付し、ビニール包装用紙で包むこと。ビニール包装用紙の外側には、表面の見やすい箇所に品名コード、品名、内容数量、単位、製造年度、契約者名及び別添１に定めるバーコード（以下「別添１のバーコード」という。）を表示する又はビニール包装用

紙の中に同等内容のＢ６判程度の紙を表面の見やすい箇所に入れること。
　なお、１０個単位で適宜の紐で把束し、次の規格の段ボール箱に入れ、目貼りすること。
⑴ ダンボールシートの種類　両面ダンボールシート　ＪＩＳ１種
⑵ 箱の形式　　０２０１形
⑶ 箱の寸法　　５３０ｍｍ×２８５ｍｍ×２１５ｍｍ（±１０ｍｍ）
⑷ １箱当たりの収納数量　　１０個
⑸ ダンボール箱は、留め金加工不可とする。

８　外装表示
　段ボール箱側面（４面）の見やすい箇所に品名コード、品名、内容数量、単位、製造年度、契約者名及び別添１のバーコードを表示すること（段ボール箱側面の短面（２面）については、全ての項目を表示することが困難な場合は、別添１のバーコードのみの表示でも可）。

９　納入場所等
⑴ 納入場所
　別紙３「納入内訳書」に記載する納入場所のとおり
⑵ 納入期限
　平成２７年３月２７日（金）
⑶ 納入予定日の前日から起算して１０日前の日までに各物流センターに納入日時を確認すること。
　なお、物流センターから納入日時の指定があった場合は、指定された日時に納入することとし、納入予定日の前日から起算して１週間前の日までに到着するよう、物流センターに物品納入予告書を送付すること。
　おって、物品納入予告書には、物品契約担当から通知された購買発注番号を必ず記入すること。
⑷ 納品書の提出
　納入の際は、「納品書」を提出すること。
　なお、「納品書」の返送が必要な場合は、返信用封筒を添付すること。
⑸ 物流センターへの納入手順は、別添２のとおり。納入物品の持込み時の格納については、物流センターに確認すること。

10 納入前の品質確認
　納入前に必ず日本郵便株式会社調達部総務・総括担当（以下「検査担当」という。）の品質確認を受け、合格すること。
　なお、品質確認希望日の前日から起算して７営業日（この仕様書において「営業日」は、行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日以外の日とする。）前の日までに確認日、確認場所等について検査担当と協議を行い、同担当に「品質確認申請書兼実施指示書」を提出すること。

11　納入後の検査担当への書類の提出
　納入の際は、納入先に納品書を提出の上、受領者の記名・押印及び検収日の記載を受け、最後に納入した物流センターへの納入日（物流センターで受領した日）の翌日から起算して５営業日（この仕様書において「営業日」は、行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日以外の日とする。）以内に検査担当に提出すること。

12　第三者の産業財産権等の実施等
⑴ この契約に基づく委託業務又は成果物若しくはその使用が第三者が権利を有する産業財産権その他の権利の実施又は使用に該当する場合は、受託者は、当該産業財産権その他の権利の実施又は使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約に係る一切の手続を行い、当該使用許諾契約の書面の写しを主管担当に提出するものとする。
⑵ 本品に関し、第三者との間に産業財産権に係る権利侵害の紛争等が生じた場合は、当該紛争

等の原因が専ら日本郵便株式会社の責めに帰すときを除き、契約者の責任及び負担において一切を処理すること。この場合、日本郵便株式会社は、かかる紛争等の事実を知ったときは、契約者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を契約者に委ねる等の協力措置を講じるものとする。

13　その他

⑴ 別添１のバーコードについては、日本郵便株式会社調達部物品契約担当（以下「物品契約担当」という。）において読取り確認を受けること。

⑵ 個装表示及び外装表示については、上記 10 の品質確認を受ける日の前営業日までに物品契約担当において校正を受けること。

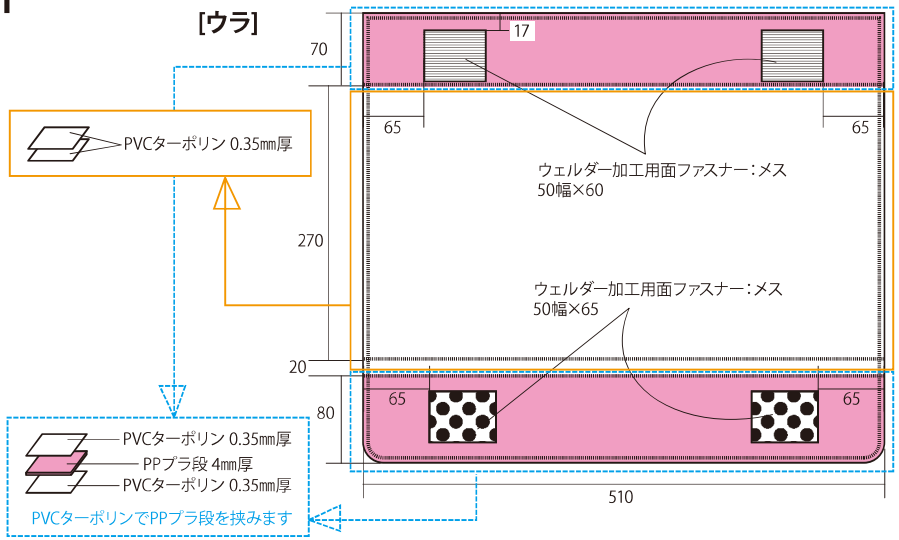
⑶ 本品納入に際して宅配便を使う場合は、「ゆうパック」を利用すること。

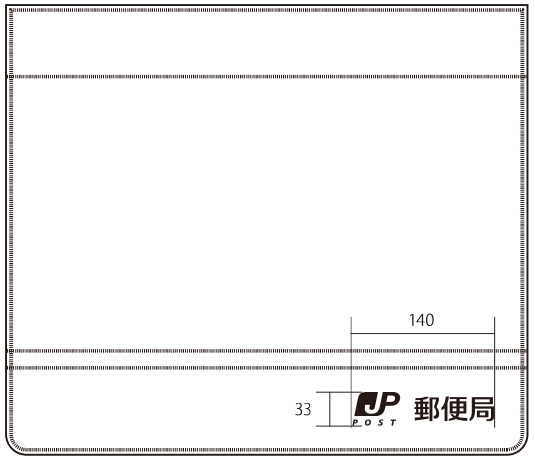
なお、ゆうパックを利用する場合は、日本郵便株式会社が提供する送り状印字ソフトを利用して送り状を作成し、差し出しを行う郵便局と調整の上、差し出すこと。ただし、当該ソフトをインストールできない場合は、主管担当から別途提供されるフォーマットで出荷データを作成し、差し出しを行う郵便局に事前連絡の上、提供すること。

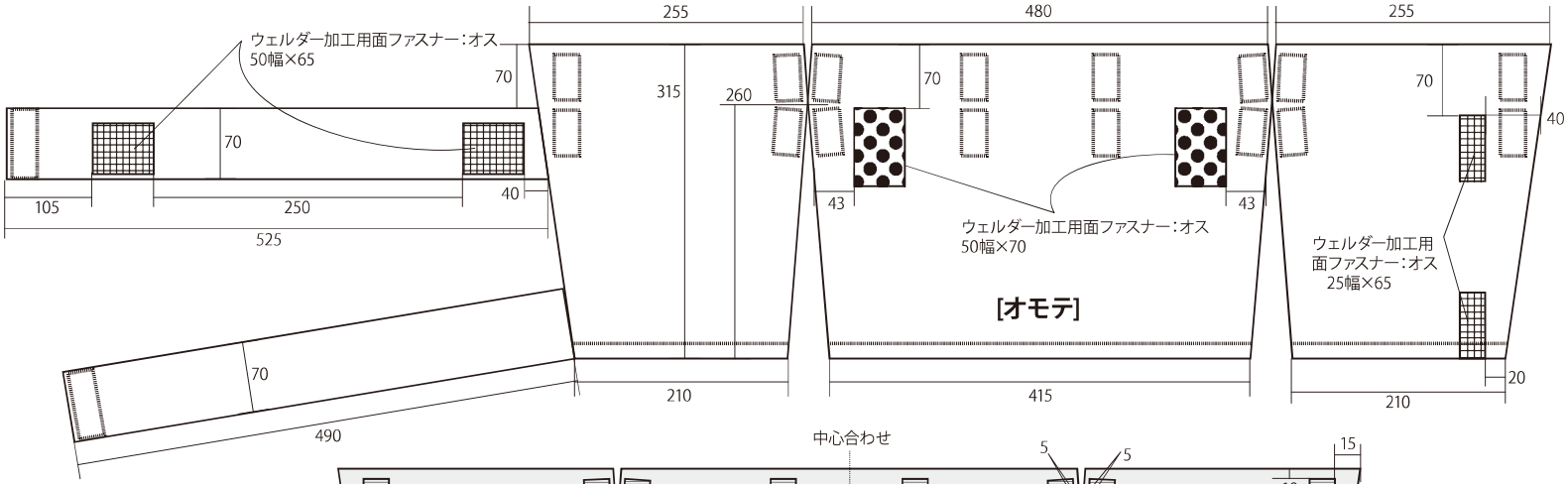
⑷ 詳細については、主管担当（TEL:03-3504-4532）に確認すること。

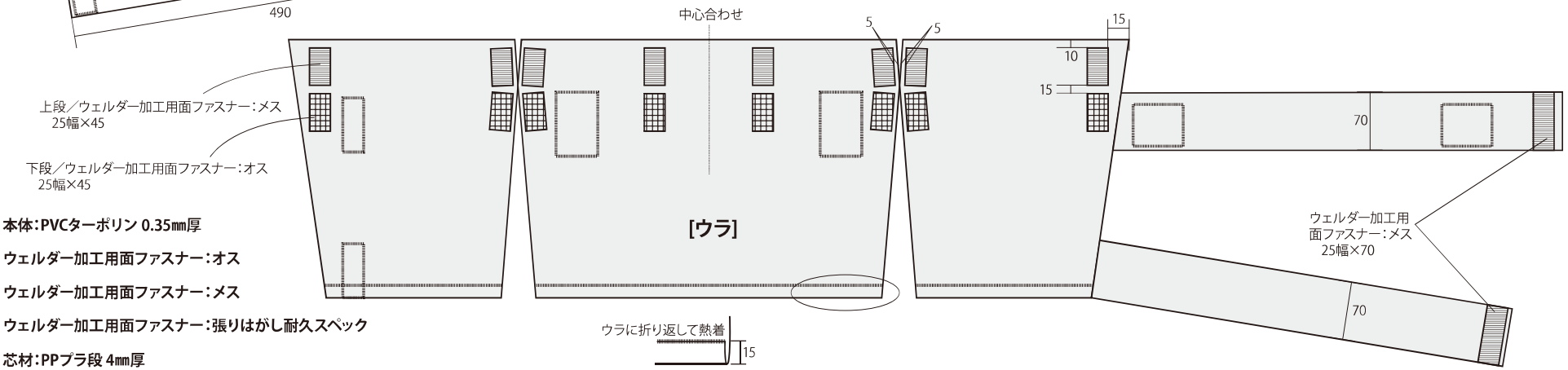
⑸ 疑義については、物品契約担当（TEL:03-3504-5333）に問い合わせること。

別紙 1









本体：PVCターポリン 0.35㎜厚

ウェルダー加工用面ファスナー：オス

ウェルダー加工用面ファスナー：メス

ウェルダー加工用面ファスナー：張りはがし耐久スペック

芯材：PPプラ段 4㎜厚

別紙 2

PVCターポリン 0.35㎜厚　物性

引張強度(kg/3cm)		伸度(%)		引裂強度(kg)		耐揉性(1kg荷重回数)		耐候
JIS L 1096		JIS L 1096		JIS L 6772		JIS K 6328		JIS D 0250
タテ	57	タテ	16	タテ	7	タテ	1,000 異常なし	製品はサンシャインカーボンアーク灯式耐光試験機による400時間の試験にて色落ちのない事
ヨコ	55	ヨコ	20	ヨコ	7	ヨコ	1,000 異常なし	

PPプラスチック段ボール 4㎜厚　物性

項目	試験規格	単位	結果平均値	結果標準偏差
曲げ強度MD-LINER	JIS K 7171	Mpa(kgf/㎟)	12.4(1.3)	0.4(0)
曲げ強度MD-BLACK	JIS K 7171	Mpa(kgf/㎟)	15.6(1.6)	0.2(0)
曲げ強度TD-LINER	JIS K 7171	Mpa(kgf/㎟)	6.8(0.7)	0.1(0)
曲げ強度TD-BLACK	JIS K 7171	Mpa(kgf/㎟)	8.4(0.9)	0.2(0)

ウェルダー加工用面ファスナー 25mm巾　物性

耐光堅牢度		洗濯堅牢度		熱湯堅牢度		汗堅牢度			摩擦堅牢度		遊離ホルムブルデヒド	
JIS L 0842		JIS L 0844 A-2号準用		JIS L 0845-1975 ビーカー法3号		JIS L 0848			JIS L 0849 Ⅱ型		厚生省令第34号 (昭和49年)乳幼児用品	
変退色	4級以上	変退色	5	変退色	5	酸性	変退色	5	乾燥	4-5	吸光度 (A-Ao)	0.05以下 (0.01)
		汚染	4-5	汚染	4-5		汚染	4-5				
						アルカリ性	変退色	5	湿潤	4-5		
							汚染	4-5				

ウェルダー加工用面ファスナー 50mm巾　物性

耐光堅牢度	洗濯堅牢度	熱湯堅牢度	汗堅牢度	摩擦堅牢度	引張りせん断強さ	剥離強さ
JIS L 0842 88	JIS L 0844 86 A-3法	JIS L 0845 75 3号	JIS L 0848 78 C法	JIS L 0849 71	HL2 WB	HL2 WB
4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	4級以上	8.3 N/cm² (0.85 kgf/cm²)	0.89 N/cm (91gf/cm)

剥離耐久性

剥離回数	A03800-00×B10000-00
2,000	8.4 N/cm² (0.85 kgf/cm²)
5,000	8.6 N/cm² (0.87 kgf/cm²)
10,000	7.9 N/cm² (0.80 kgf/cm²)

別紙3

納入内訳書

納入場所	住所等	数量（個）
東日本物流センター	〒303-8792 茨城県常総市内守谷町きぬの里3-38-1 電話番号　0297-27-4851	1,100
西日本物流センター	〒651-1392 神戸市北区鹿の子台南町5-2 電話番号　078-953-2270	1,100
九州物流センター	〒860-8792 熊本市西区春日5-17-9 電話番号　096-356-5908	1,100
合計		3,300

別添１

式紙及び外装に付定するバーコード仕様

１　バーコード規格

(1) シンボル　　白黒バーコード　Interleaved Two of Five

(2) 桁数　　全１４桁（スタートコード及びエンドコードを除く。）

(3) 構成及び寸法　別図１「バーコード構成」による。

(4) 余白部分　　クワイエットゾーン（バーコード両端の余白部分）は、５．０８０mm以上とする。

(5) 印刷　　ア　一般的留意事項

(ｱ) ボイド及びスポットは、イで定める反射率及びＰＣＳ値を満たすこと。

(ｲ) 印刷層における段差は、JIS X 0502 によること。

イ　光学的特性（ＰＣＳ値）

白バー及びクワイエットゾーンの反射率に対する黒バーのＰＣＳ値は、０．４５以上とする。

$$\text{ＰＣＳ値} = \frac{\text{ＲＬ}-\text{ＲＤ}}{\text{ＲＬ}}$$

ＲＬ:白バー及びクワイエットゾーンの反射率（%）

ＲＤ:黒バーの反射率（%）

ウ　刷色は、赤系統の色を使用しないこと。

２　コード仕様（数値構成）

(1) 物品種別コード（１～２桁）

「４１」

(2) 品名コード（３～７桁）

品名コードの５桁の数値による。

(3) 交付区分（８～９桁）

指定	交付区分	コード	指定	交付区分	コード
○	全国	００	－	東海	０７
－	北海道	０１	－	近畿	０８
－	東北	０２	－	中国	０９
－	関東	０３	－	四国	１０
－	東京	０４	－	九州	１１
－	信越	０５	－	沖縄	１２
－	北陸	０６			

(4) 版数管理コード（１０～１１桁）

同一の品名コードにおける内容の改訂等の管理コード

日本郵便株式会社調達部物品契約担当（以下「物品契約担当」という。）から別途通知する。

(5) 号型管理コード（１２～１３桁）

式紙・消耗品類は、「００」の固定とする。

(6) チェックデジット（１４桁）

１～１３桁のコード数値を以下により計算した値とする。

奇数（１、３、５、７、９、１１、１３）桁の数値×３

＋　偶数（２、４、６、８、１０、１２）桁の数値×１

※※※の下１桁の値

↓（下１桁の値が「０」の場合は、０とする。）

１０－※

３　バーコードリーダーの読取り範囲

項　目	最　　小	最　　大	備　　考
高さ	１０mm以上	制限なし	
幅	２１mm以上	７０mm以下	
走査線	１桁０．１５mm以上	１４桁と左右ﾏｰｼﾞﾝで７０mm以下（ｽﾀｰﾄ及びｴﾝﾄﾞを含む。）	左右ﾏｰｼﾞﾝ各２．５４mm以上必要

４　外装に表示するバーコード（別図２「外装表示例」参照）

(1) 段ボール箱の側面４面にバーコードを表示すること。

(2) 下方がスタート、上方がエンドの縦置型とすること。

(3) バーコードの位置については、段ボール箱底面から４０mm以上、天面から６mm以上離すこと。

(4) 段ボール箱のサイズ等の理由により上記の規格によれない場合は、物品契約担当に確認すること。

５　その他

(1) 契約締結後、速やかにバーコードの試作品を物品契約担当に提出し、読取り確認を受けること。

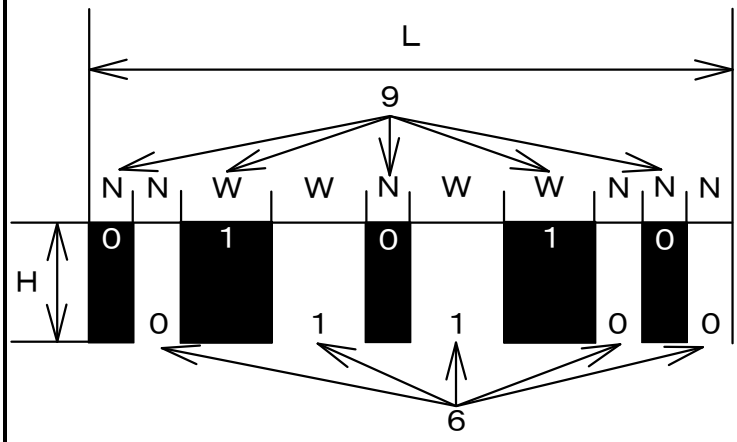
(2) 詳細については、物品契約担当に確認すること。

バーコード構成

ｷｬﾗｸﾀ	ｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ表示例(2桁)	例ﾃﾞｰﾀ	ｷｬﾗｸﾀ	ｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ表示例(2桁)	例ﾃﾞｰﾀ
ＳＴ	00			ＳＰ	10		
1	10001		１１	2	01001		２２
3	11000		３３	4	00101		４４
5	10100		５５	6	01100		６６
7	00011		７７	8	10010		８８
9	01010		９９	0	00110		００

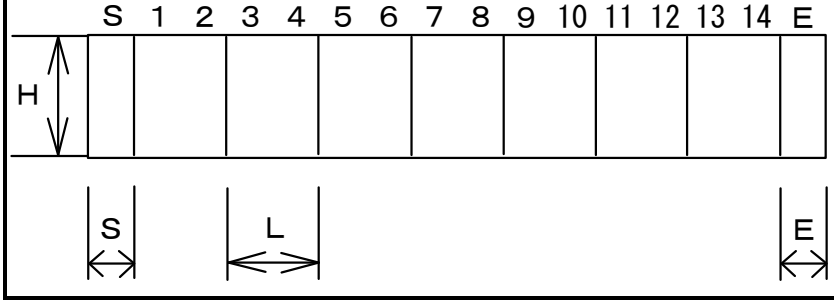
バーコード構成例

（数字９６の例）



記号　Ｌ：一対のキャラクタ寸法
Ｎ：細エレメント幅
Ｗ：太エレメント幅
Ｈ：バーの高さ
Ｓ：スタートコード
Ｅ：エンドコード

バーコードけた構成と寸法

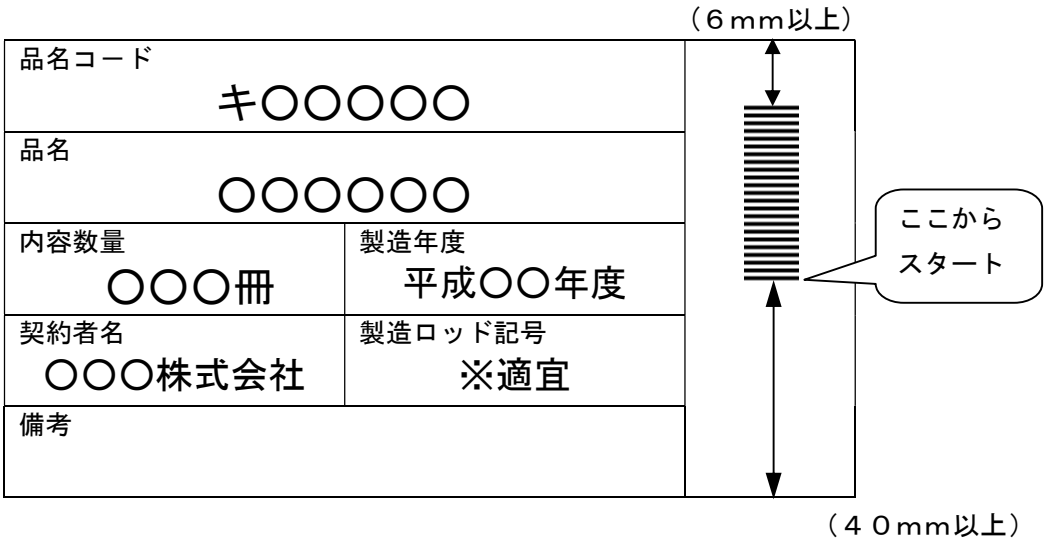


（けた番号）

寸法（単位：㎜）
Ｌ：　8.148
Ｎ：　0.508
Ｗ：　1.270
Ｈ：15.900以上
Ｓ：　2.032
Ｅ：　2.286

別図２

（外装表示例）



この表示を段ボール箱（外箱）の側面（４面）の見やすい箇所に表示すること。

見本

別添２

物流センターへの納入手順（ロジ物品）

１　納入に際しては、納入前の品質確認後直ちに物流センターと物品納入予告書に記載している事項全てについて調整を行い、物流センターの指定する日時・場所に納入する。

２　上記１で調整した**物品納入予告書は、納入日の１週間前までに物流センターに必ず到着するよう提出する。**

３　物流センターへの物品納入時においては、物流センター作業員に確認し、パレット等に物品を積み付ける。

４　積付けが安定しない物品については、ラッピングするなどパレット自動倉庫等への入庫及び保管に支障がないよう対処する。

５　物流センター作業員から自動倉庫等への入庫及び保管に支障がないことの確認を受ける。
　なお、積付けの原因により自動倉庫等への入庫及び保管ができない場合は、積付けをやり直し、再度物流センター作業員の確認を受ける。

６　**物流センターでは物流センター専用パレットの事前貸出しは原則として行わないが**、真にやむを得ない事情により物流センターと調整の上で事前に物流センター専用パレットの貸出しを受けた場合は、物流センター作業員に確認し、物流センター専用パレットに物品を積み付けて納入する。
　なお、その場合も上記４及び５による。

参考（物流センター専用パレットのサイズ等）
　　パレット寸法　　1,100㎜（縦）×1,100㎜（横）
　　積付け荷姿　　1,000㎜（縦）×1,000㎜（横）×1,400㎜（高）
　　※　パレット外周寸法から50㎜ 内側に、また、高さは1,400㎜ 以内に積み付けること。

７　物流センター構内でトラックを駐車する際は、**必ずエンジンを切り、輪止めをする。**

８　物品納入に際しフォークリフトを使用する場合は、物流センター受付において必ず**フォークリフト運転講習修了証**の提示を行う。
　なお、フォークリフトの使用に当たっては、必ず**ヘルメット・安全靴を着用**する。
　また、何らかの理由によりフォークリフト、物流センター内備品、納入品等を損傷させた場合は、全額契約者負担で弁償のこととする。

９　物流センターの入荷受付開始及び入荷受付終了時刻は、次のとおり（時間厳守）
　また、納入完了は、入荷受付終了時間から原則として１時間以内とする。
　東日本物流センター　8:15～15:00
　西日本物流センター　8:30～15:00（開門時間は7:30）
　九州物流センター　8:30～15:00
　※　**物流センターの周辺地域は、駐車禁止区域のため、夜間・早朝における物流センター及び近隣での待機駐車は絶対に行わないこと。**
　（トラック等のドライバーに待機駐車は厳禁の旨、必ず周知すること。）